

青木拓磨プロフィール

青木 拓磨 (あおき たくま)

1974年2月24日 群馬県渋川市出身)



日本のオートバイ・ロードレースライダー、現在はプロレーサー。「青木三兄弟」の次男であり、兄は青木宣篤、弟は青木治親（オートレーサー）。

8歳の時に初めてポケバイに乗り、1990年にロードレースデビュー。1995年・1996年、全日本選手権スーパーバイククラスチャンピオン2連覇を獲得。また、1996年は世界選手権スーパーバイククラスでも優勝。1997年にオートバイの世界選手権シリーズ最高峰の500ccクラスで世界ランキング5位の成績を残した。1998年の練習走行中の転倒事故以降HRC（ホンダ・レーシング）チームの助監督に就任し、鈴鹿8時間耐久を3連覇。車いすでの生活となり、2007年より4輪でレース復帰。2018年からル・マン出場に向けて、欧州のレースに参戦するなど準備を続けてきた。2021年8月に行われたル・マン24時間に出場し、無事完走を果たした。2023年アジアクロスカントリーラリー優勝。

レースの傍らでは障害者向けに手動装置付き自動車でのサーキット走行スクール『ハンドドライブレーシングスクール』とオートバイ貸与をしてグループ走行する耐久レース『Let'sレン耐』を主催する。

ホイールチェアプロレーシングドライバー

国際自動車連盟(FIA)障害者アクセシビリティ委員会メンバー

一般社団法人国際スポーツアビリティ代表

公式 YouTube チャンネル：[青木拓磨のモータースポーツチャンネル](#)

戦歴：

- 1995年 世界選手権第3戦 JAPAN GP 500cc クラス 3位全日本選手権スーパーバイククラスチャンピオン
- 1996年 全日本選手権スーパーバイク2年連続チャンピオン世界選手権スーパーバイク優勝
- 1997年 世界最高峰ロードレース世界選手権500ccクラス世界ランキング5位を獲得
- 1998年 栃木のテストコースにて、テスト中に転倒し脊髄損傷を負う
- 1999年 2001年 HRC助監督に就任 鈴鹿8時間耐久3年連続優勝
- 2007年 FIAアジアクロスカントリーラリー(AXCR) T2-G 2位 (総合7位)
- 2009年 ダカールラリー参戦
- 2011年 FIA AXCR 総合3位 T1-Dクラス3位
- 2012年 スーパー耐久 ST-2 クラス ランキング3位獲得
- 2013年 FIA GT ASIA FUJI ラウンド参戦 GTM クラス 5位
FIA AXCR 11位
- 2014年 FIA GT ASIA GTM クラスランキング2位 (優勝3回)
FIA AXCR 4位
- 2015年 FIA GT ASIA GT M-class Ranking 5th(LAMBORGHINI GALLARDO GT3)

FIA AXCR 総合9位 T1クラス7位
2016年 FIA Asian Le Mans series GT cup class Champion (PORSCHE CUP GT3)
FIA AXCR 総合17位 T1クラス9位
2017年 FIA AXCR 総合6位 T1クラス5位
2018年 FIA VdeV endurance championship LMP3クラス3位3回
2019年 FIA Ultimate CUP endurance LMP3クラス3位2回
FIA AXCR 総合13位 T1クラス9位
2021年 FIA ル・マン 24時間参戦・完走
2022年 GT World Challenge Asia参戦
2023年 FIA AXCR T1クラス総合1位